

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県に於ける、平成29年4月～6月期の合材出荷数量は、前年同期比109%と前年を約22,600ト上回る269,860トとなった。この要因は、中越地区では昨年同期を若干下回ったものの、各地区共にH28年度工事に係る合材使用数量が多かったことによるものと思われる。

地区別では、下越地区は公共工事の新年度発注工事に加え前年度工事も多く、単月すべての月に於いて前年を10ポイント以上上回り、前年同期比113%・137,950トとなった。中越地区は、前年度工事の消化により4月は前年対比107%と前年を上回ったが、5月、6月は新年度工事の需要が少なく前年比未達となり、全体でも97%と前年を下回る80,530ト。上越地区は、舗装工事が順調に消化され全月に於いて前年を上回り、全体では前年対比125%・45,510トと大幅に増加した。佐渡地区は、前年対比4月94%、5月97%とやや厳しい状況であったが、6月に大幅な出荷増となり全体では112%・5,860トとなった。

第2四半期の動向は、高速道路の舗装改良に係る出荷が順調に見込まれているが、国道等の大型公共工事の本格的な施工は第3四半期に見込まれており、地元自治体及び民間舗装工事にはやや一服感がみられる。

また、主要資材のアスファルトは年当初に値上がりしたまま上昇基調で推移しており、工場運営は依然として厳しい環境下にある。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における平成29年度4月～6月期、出荷状況は、県計で12万tで前年同期と比べ21%の増となった。地区別でみると東部地区が6万3千tで2%の増。西部地区でも5万7千tで54%の増となった。

これは、全国植樹祭の関連工事が発注され、東部、西部地区とも前年より、増となった。7月以降は県、市町村工事が全県内で期待される。また、高速道路の修繕工事も始まり、第2四半期は第1四半期より増となる見込み。

石川県

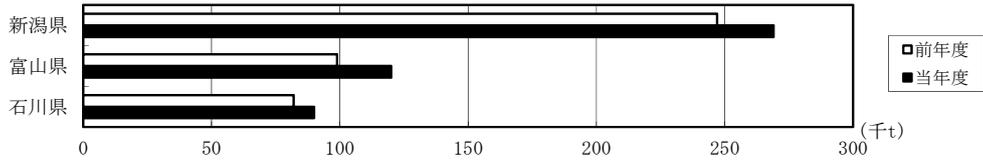
記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における平成29年度4月～6月の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で約9%の増、能登地区で約6%の増と、ともに増加しており石川県全体では前年比約10%増となった。

しかしこれは前年度の出荷量が非常に少なかったためであり、一昨年のお荷に比べると全体で約9%の減となっている。

今後も前期同様官民ともに需要が見込まれる見通しもなく、加賀地区における北陸新幹線工事に対する合材出荷も少ないと思われ、またアスファルト等の原材料の高止まりも続き厳しい状態が続くとおもわれる。

アスファルト合材出荷量の推移(4月～6期)



(単位：千t、%)

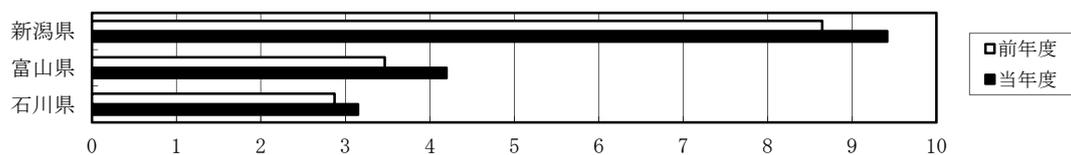
県	地区	平成28年度 年計	平成29年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	▲9 160	25 45				▲72 45
	中越	▲5 364	▲4 80				▲78 80
	下越	▲12 585	12 138				▲76 138
	佐渡	▲7 26	20 6				▲77 6
	県計	▲7 1,135	9 269				▲76 269
富山県	東部	▲10 284	2 63				▲78 63
	西部	▲19 208	54 57				▲73 57
	県計	▲14 492	21 120				▲76 120
石川県	加賀	▲3 352	9 71				▲80 71
	能登	▲4 103	6 19				▲82 19
	県計	▲1 454	10 90				▲80 90

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県 富山県 石川県
 会員 32 社のうち 32 社 会員 14 社のうち 14 社 会員 18 社のうち 12 工場分

◎参 考 資 料

アスファルト出荷量の推移 (4月～6月期)



(単位：千t、%)

県	地 区	平成28年度 年 計	平成29年度				累 計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新 潟 県	上 越	▲ 9	25				▲72
		5.6	1.6				1.6
	中 越	5	▲ 4				▲78
		12.7	2.8				2.8
	下 越	▲12	12				▲76
		20.5	4.8				4.8
佐 渡	▲ 7	20				▲77	
県 計	0.9	0.2				0.2	
富 山 県	東 部	▲ 7	9				▲76
		39.7	9.4				9.4
	西 部	▲10	2				▲78
		9.9	2.2				2.2
県 計	▲19	54				▲73	
	7.3	2.0				2.0	
石 川 県	加 賀	▲14	21				▲76
		17.2	4.2				4.2
	能 登	3	9				▲80
		12.3	2.5				2.5
県 計	▲ 4	6				▲82	
	3.6	0.7				0.7	
県 計	1	10				▲80	
	15.9	3.2				3.2	

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量 (千t) = アスファルト合材量 (千t) × 3.5%」